



株式会社南紀白浜エアポート R8年度事業計画



南紀白浜エアポート R8年度事業計画

空港活性化 に関する計画

■ 目標旅客数:25.0万人

- 定期便(B738機・1日3往復の維持と拡大)に向けた航空需要の底上げ
 - ・ 観光需要の創出:着地型旅行業(紀伊トラベル)を通じた地域の魅力の商品化および旅行代理店との販売チャネルの強化
 - ・ ビジネス需要の創出:空港DX視察や空港バックヤードツアーの販売
 - ・ 地元の空港利用促進:和歌山県と連携した地元向けプロモーション、北海道・東北エリアへの乗り継ぎ利用促進、空港イベント開催
- チャーター便:国内外からのチャーター便の受入
 - ・ 国内チャーター:FDAを中心に地方間チャーター便の受入および地元向けの遊覧飛行フライトの企画
 - ・ 国際チャーター:台湾・韓国を中心に和歌山県や白浜町などと連携したエアラインや現地旅行代理店に対する誘致
- ビジネスジェット便:航空機へのリムジン横付けなど富裕層向けサービス拡充による受入環境の整備

■ 空港における利便性の向上

- 受入体制の強化
 - ・ 空港利用者の利便性を向上させるための二次交通ネットワークの拡充や空港おもてなしの向上

南紀白浜エアポート R8年度事業計画

維持管理 に関する計画

- 空港施設の安全を継続的に維持
 - 日常の維持管理
 - 日常点検、巡回点検、緊急点検(地震・台風等の天災発生直後に実施する点検)を適切に実施、検知された損傷を記録
 - 補修、修繕が必要な箇所については、対応工法を検討した上で実施
 - 教育・訓練を計画的に実施し、トラブル発生時に空港スタッフが迅速・的確に対応できるよう準備
 - 更新工事の協議、遂行、現場管理
 - 地球温暖化対策計画による電力使用量・CO2排出量の削減を目的に、和歌山県との連携により航空灯火のLED化に着手する予定
 - 新技術の導入推進(空港DXの推進)
 - 空港およびその周辺を舞台にした技術実証を要望、提案する企業と協働で新技術の実用化を目指す

南紀白浜エアポート R8年度事業計画

安全・保安 に関する計画

- 航空の安全及び空港の保安を維持・改善するため、目標を掲げ、継続的な取組を実施する。
 - 目標
 - ・ 空港の施設又は運用に起因する航空機事故発生件数ゼロ
 - ・ 空港の施設又は運用に起因する重大インシデント発生件数ゼロ
 - ・ 制限区域内において人の死傷及び航空機損傷の発生件数ゼロ
- 空港スタッフ一体となった安全・保安意識の向上を図るとともに、以下の取組により業務品質の維持・改善を行う。
 - 空港委員会(年2回以上)及び空港保安委員会(年3回以上)の開催
 - 3層の視点によるモニタリングの実施
 - 教育・訓練の計画的実施による対応能力の向上
 - 空港消防体制の維持・強化
 - ハザードの把握及びリスク評価に基づく改善措置の実施